

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム むつみ

作成日: 令和4年9月19日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在はコロナ禍の為、書面で報告を行っている。コロナ収束後は、参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議内容の発展に向けて検討し、取り組んでいく。	コロナ収束後は、市内の事業所とのネットワークを活かした合同開催を年に数回行ってみたい。会議の中で、勉強会や地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	3	事業所の力を活かした地域貢献	現在は、コロナ禍の為、地域との交流も難しい状況であるが、コロナ収束後には、事業所独自のスキルやノウハウを地域に還元し、認知症やグループホームの啓発に繋げていく。	共用型デイサービス、緊急時ショート申請手続きを進め、本当の意味での地域密着型を目指し、地域に貢献していく。コロナ収束後には、体験学習や認知症サポーター養成講座等で認知症の啓発に努めたり、「さわら南よかとこネット」の活動を通して積極的に地域貢献に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。